

タイブレイクのやり方

各セット共、スコアが6ゲーム(または8ゲーム)・オールになった時、アンパイアは、「Game A, games are 6(または8)-all, in the 12-Points tiebreak」とコールし、タイブレイクゲームが始まる。

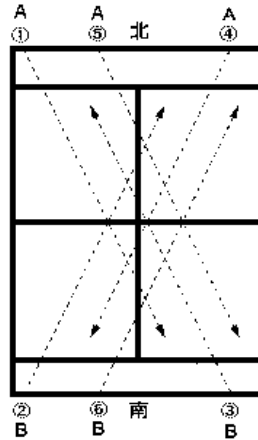
①サービスのローテーション

a. シングルス (A対B)

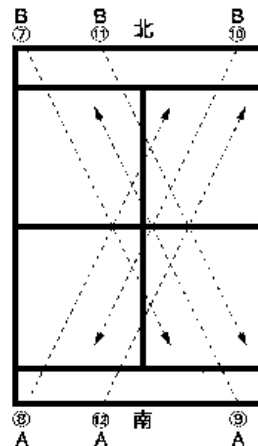
第13(または17) ゲーム目をサーブする順番のプレイヤーをAとし、北側に位置しているとする。

- 第1 A 北から右コートへ
- 第2 B 南から左コートへ
- 第3 B 南から右コートへ
- 第4 A 北から左コートへ
- 第5 A 北から右コートへ
- 第6 B 南から左コートへ

ここでコート・チェンジ



- 第7 B 北から右コートへ
- 第8 A 南から左コートへ
- 第9 A 南から右コートへ
- 第10 B 北から左コートへ
- 第11 B 北から右コートへ
- 第12 A 南から左コートへ



ここでコートチェンジし、第13ポイント以下は第1ポイント以下に置き換え続けられる。

②2ポイント以上の差をつけて7ポイントを取ったプレイヤー(または組)が、そのゲーム及びそのセットの勝者となり、スコアは7-6(または、9-8)と記録される。

6ポイント・オールとなったときは一方のプレイヤー(又は組)が、2ポイントの差をつけるまで続けられる。

③タイブレイクゲームでは、数字上の得点(0. 1. 2. 3. 4. …)が用いられる。

④各6ポイント目ごと、及びタイブレイクゲームの終わった時点でコートチェンジする。ただし、タイブレイクゲームでのコート・チェンジの間に、水を飲んだり汗をふいたり、一切の休憩は認められない。

⑤タイブレイクゲームで、プレーした次のセットの第1ゲームは①の例で示すとプレイヤーA(ダブルスの場合はA:B組)がレシーバーとなる。

⑥タイブレイクゲームはボール・チェンジに関し、1ゲームに数える。

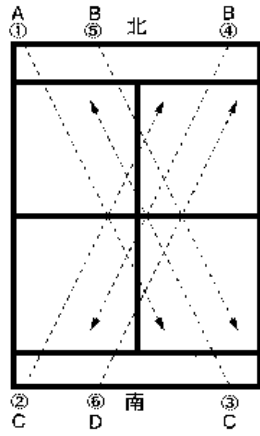
⑦ボール・チェンジが、丁度タイブレイクゲームのときに来た場合は、それを次のセットの第2ゲームまで延ばす。これはニューボールで最初にサーブする権利をあくまでも交互に与えるためである。

b. ダブルス (A : B対C : D)

第12(または、16)ゲーム目にサービスしたプレイヤーをD、第13(または、17)ゲーム目にサーブする順番のプレイヤーをA:B組が北側に位置しているとする。

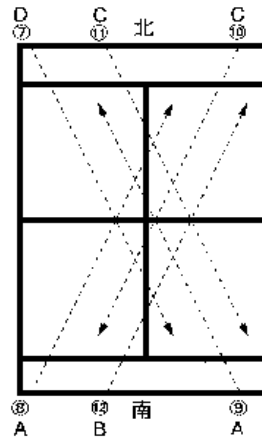
- 第1 A 北から右コートへ
- 第2 C 南から左コートへ
- 第3 C 南から右コートへ
- 第4 B 北から左コートへ
- 第5 B 北から右コートへ
- 第6 D 南から左コートへ

ここでコートチェンジ



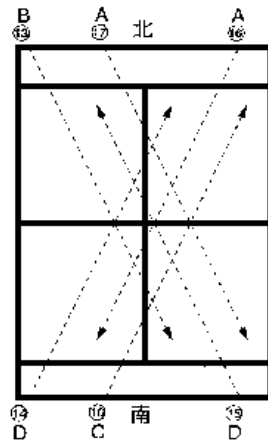
- 第7 D 北から右コートへ
- 第8 A 南から左コートへ
- 第9 A 南から右コートへ
- 第10 C 北から左コートへ
- 第11 C 北から右コートへ
- 第12 B 南から左コートへ

ここでコートチェンジ

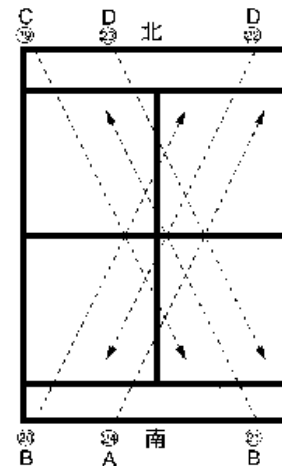


- 第13 B 北から右コートへ
- 第14 D 南から左コートへ
- 第15 D 南から右コートへ
- 第16 A 北から左コートへ
- 第17 A 北から右コートへ
- 第18 C 南から左コートへ

ここでコート・チェンジ



- 第19 C 北から右コートへ
- 第20 B 南から左コートへ
- 第21 B 南から右コートへ
- 第22 D 北から左コートへ
- 第23 D 北から右コートへ
- 第24 A 南から左コートへ



ここでコート・チェンジし、第25ポイント以下は第1ポイント以下に置き換え続けられる。

8ゲームプロセットの試合方法

- ①2ゲームの差をつけて8ゲームを先取したプレイヤーがその試合の勝者となる。
- ②スコアが7ゲームオールとなった場合には、更に2ゲームを行い9対7で勝者を決定する。
- ③8ゲームオールとなった場合には、タイブレイクを適用し、スコアは9-8(5)と記録される。